

株主の皆さまへ

To Our Shareholders

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、第66期の事業概況についてご報告申し上げます。

当事業年度における日本経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことにより経済活動の正常化が進み、回復基調で推移しました。一方で、円安に伴う物価上昇や資源価格の高止まり、ウクライナ情勢等の地政学的リスクや世界的な金融政策の引き締めを背景とした世界経済の減速懸念等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く経営環境についても、継続的な原材料価格やエネルギー価格の高騰による製造コストの上昇、製品の価格競争等により、引き続き厳しい状況が続いております。

このような経済情勢のなかで、高付加価値製品の開発、取引先との関係強化に努める一方、生産の合理化・効率化に取り組んでまいりました。しかしながら、収益性が低下したホットメルト事業における生産設備等について減損損失を特別損失に計上いたしました。以上の結果、当事業年度の売上高は13,192百万円(前事業年度比111.0%)と増収になり、経常利益は1,173百万円(前事業年度比187.6%)と増益になりましたが、当期純利益は583百万円(前事業年度比87.1%)と減益になりました。

今後は、さらなる収益の拡大を目指し、国内外市場における新規取引先の開拓、既存取引先との関係強化を積極的に推進してまいります。また、環境負荷の低減など市場の課題を解決する製品の研究・開発に注力するとともに、生産の合理化と業務効率の改善による生産性の向上を図り、収益性の改善に全社をあげて取り組んでまいります。更に、社員の知識・技術の向上や意識改革を図るなど人材育成に注力し、今まで以上に企業体質の強化に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましても、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



ヤスハラケミカル株式会社
代表取締役社長

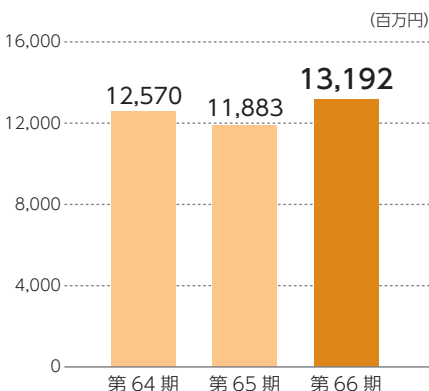
安原 稔二

財務ハイライト

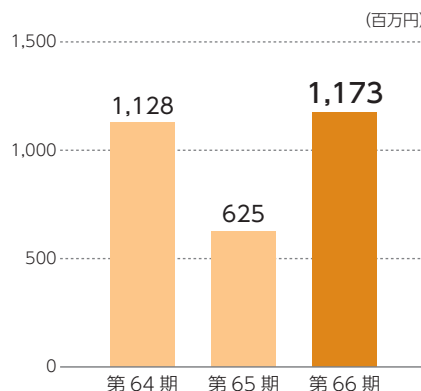
Financial Highlights

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

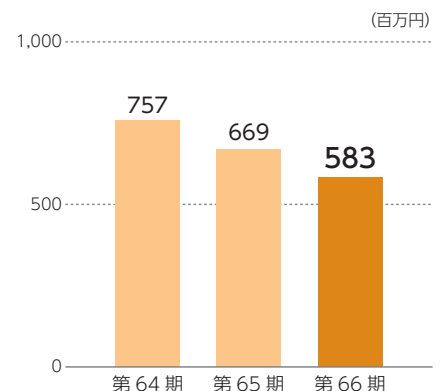
売上高



経常利益



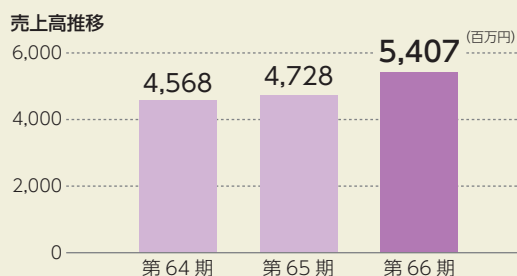
当期純利益



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

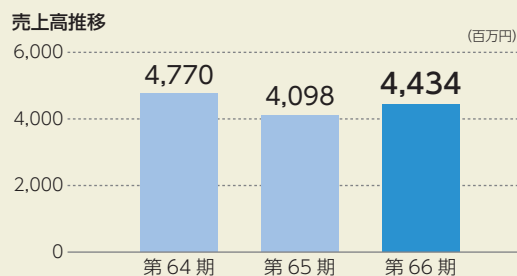
テルペン樹脂部門

自動車用品用途の変性テルペン樹脂及び工業用途のテルペン樹脂に加え自動車用品用途の水添テルペンフェノール樹脂が好調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は、前事業年度比114.4%と増収になりました。



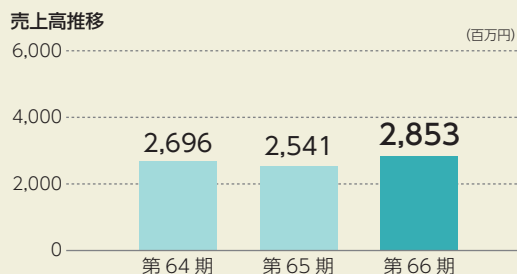
化成品部門

香料分野及び製本用途のワックスが低調に推移した一方、電子材料分野及び光学用途の化学品が好調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は、前事業年度比108.2%と増収になりました。



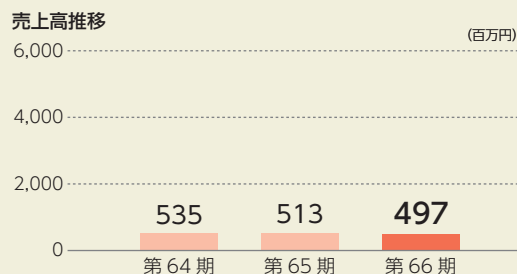
ホットメルト接着剤部門

生活用品用途の粘着剤及び食品用途の押出グレードに加え包装用途の汎用ホットメルト接着剤が好調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は、前事業年度比112.2%と増収になりました。



ラミネートフィルム部門

光沢化工紙用ラミネートフィルムが市況の低迷により低調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は、前事業年度比96.8%と減収になりました。



ハイライト

生産効率の向上を目指し鶴飼工場と総領工場を統合しました

当社は、収益性の改善と将来的な人手不足を想定した省力化を目的として、ホットメルト接着剤の生産拠点である鶴飼工場と総領工場を2023年8月に鶴飼工場へ統合いたしました。

ホットメルト接着剤の生産設備は、老朽化による修繕費の増加に加え、拠点分散による非効率的な生産体制により、事業全体の収益性を悪化させる要因となっていました。

こういった状況下、技術部門と製造部門が中心となりプロジェクトを結成し、生産設備の自動化や効率的な生産技術の構築に取り組んだ結果、生産効率の向上と製造経費の大幅な削減を実現することができました。

今後は、より付加価値の高い製品開発を進め、収益の拡大を図るとともに、更なる生産体制の効率化を追求し、より良い企業活動となるよう取り組んでまいります。



【鶴飼工場】

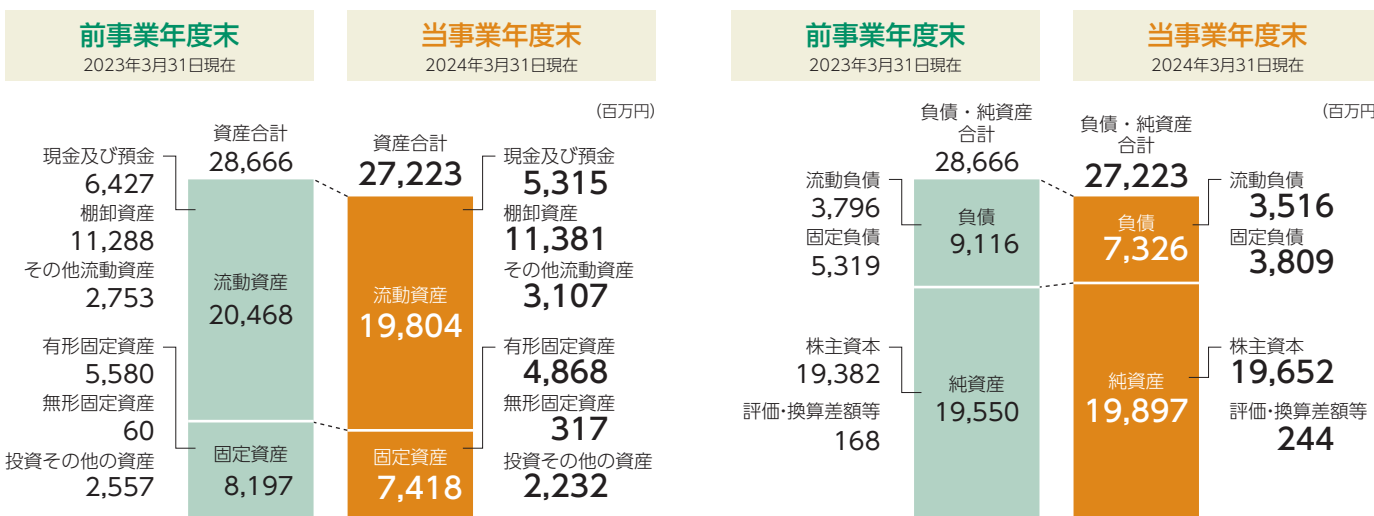
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

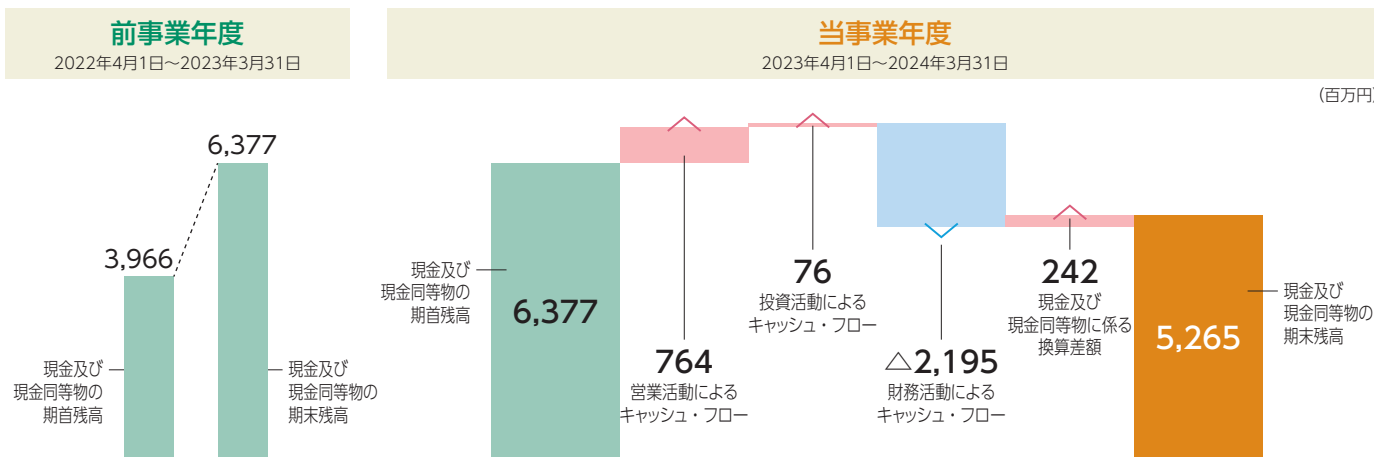
(百万円)

| | 前事業年度 2022年4月1日～2023年3月31日 | 当事業年度 2023年4月1日～2024年3月31日 | 前事業年度比 |
|------------|-------------------------------|-------------------------------|---------|
| 売上高 | 11,883 | 13,192 | 111.0 % |
| 売上原価 | 9,725 | 10,537 | 108.3 % |
| 売上総利益 | 2,157 | 2,655 | 123.1 % |
| 販売費及び一般管理費 | 1,949 | 1,973 | 101.3 % |
| 営業利益 | 207 | 681 | 327.7 % |
| 経常利益 | 625 | 1,173 | 187.6 % |
| 当期純利益 | 669 | 583 | 87.1 % |

貸借対照表



キャッシュ・フロー計算書



株式の状況 (2024年3月31日現在)

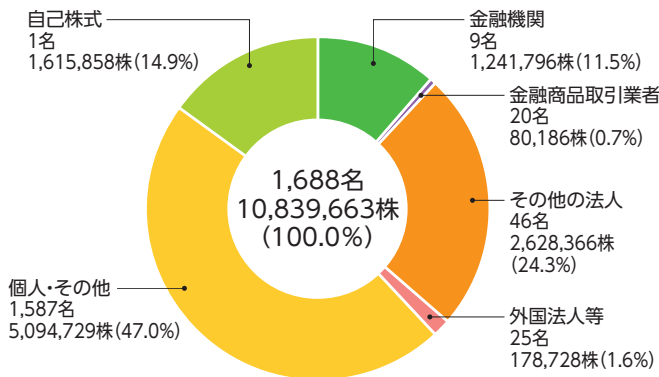
- 発行可能株式総数 22,000,000株
- 発行済株式の総数 10,839,663株
- 株主数(自己株式1名含む) 1,688名

大株主(上位10名)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|----------------|---------|---------|
| ワイエス興産有限会社 | 1,237 | 13.4 |
| 安原禎二 | 1,186 | 12.9 |
| ヤスハラケミカル取引先持株会 | 946 | 10.3 |
| 沖津妙子 | 521 | 5.7 |
| 株式会社中国銀行 | 439 | 4.8 |
| 有限会社マキ | 403 | 4.4 |
| 有限会社宗江 | 373 | 4.1 |
| 後藤一紀 | 245 | 2.7 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 221 | 2.4 |
| ヤスハラケミカル従業員持株会 | 198 | 2.2 |

(注) 1.当社は、自己株式を1,615,858株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2.持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

所有者別株式保有比率



(注) ()内の数値は株式数の比率を表示しております。

株主メモ

| | |
|------------------------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 期末配当金受領株主確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 9月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月に開催 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話0120-094-777(通話料無料) |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所スタンダード市場 |
| 公告方法 | 日本経済新聞に掲載 |

会社の概況 (2024年3月31日現在)

| | |
|------|---|
| 商号 | ヤスハラケミカル株式会社 YASUHARA CHEMICAL CO., LTD. |
| 創業 | 1947年4月 |
| 設立 | 1959年2月24日 |
| 資本金 | 1,789,567,460円 |
| 従業員数 | 230名 |

主な事業内容

| | |
|-------------|--------------------|
| テルペン樹脂部門 | テルペン系樹脂 |
| 化成品部門 | 合成香料原料、テルペン溶剤、ワックス |
| ホットメルト接着剤部門 | ホットメルト接着剤 |
| ラミネートフィルム部門 | 光沢ラミネートフィルム |

営業所及び工場

| | |
|-------|--|
| 本社 | 〒726-0013 広島県府中市高木町1071番地 |
| 東京事務所 | 〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目6番1号 三井住友海上テプコビル5階 |
| 研究所 | 〒721-0956 広島県福山市箕沖町117番 |
| 鶴飼工場 | 〒726-0002 広島県府中市鶴飼町800番111 |
| 福山工場 | 〒721-0956 広島県福山市箕沖町117番 |
| 新居浜工場 | 〒792-0892 愛媛県新居浜市黒島一丁目7番7号 |

ホームページ <https://www.yschem.co.jp/>

役員 (2024年3月31日現在)

| | |
|--------------|-------------------|
| 代表取締役社長 | 安原 禎二 |
| 取締役 | 原田 桂子 社長室長兼経営企画部長 |
| 取締役 | 栗本 倫行 生産本部長 |
| 取締役(常勤監査等委員) | 中居 英尚 |
| 取締役(監査等委員) | 前岡 良 |
| 取締役(監査等委員) | 内林 誠之 |

(注) 取締役(監査等委員)前岡良氏及び内林誠之氏は、社外取締役であります。

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。